

## 第2回大人のためのフットサル大会開催しました！

2月11日(木/祝)に2回目となった「大人のための学年対抗フットサル大会」を開催しました。

当日は天気が心配されましたが、何とか最後まで行うことができ、子供たちの応援も多く盛り上がりました。

また、昨年よりは女性に優しいフットサルになったように思います。  
結果は下記のとおりです。

### ◆結果

#### <Aグループ>

1位：5年生(2勝)

2位：2年生(1勝1敗)

3位：4年生(2敗)

#### <Bグループ>

1位：3年生(2勝)

2位：6年生(1敗1分)

3位：1年生(1敗1分)

※2位と3位は得失点差による

#### <順位決定戦>

##### ▼5位決定戦

1年生 vs 4年生

4-1 で1年生が5位

##### ▼3位決定戦

2年生 vs 6年生

0-0 PK戦の末サドンデスまでもつれましたが2-1で2年生が3位

##### ▼決勝戦

2-0で3年生が優勝！益子さんの逆転ボレー（2点シュート）で決まりました



優勝した3年生チーム

## 大会・公式戦結果

### Top

【県社会人選手権 決勝トーナメント】

#### ▼2 回戦

vs 明治生田 FOX 4-2○

#### ▼3 回戦

vs フットワーククラブ 0-2●

### Junior Youth

【県 U-15 リーグ】

vs 相模原 FC あじさい 0-2●

vs 川和中 4-1○

vs 不入斗中 1-6●

6 チーム中第 4 位

### 小 5

【横浜東杯】

#### ▼グループリーグ

vs 横浜東 SC 2-0○

vs 鶴沼 SSS 0-2●

3 チーム中 2 位で 3 位決定戦へ

#### ▼3 位決定戦

vs 港北 FC 2-1○

6 チーム中第 3 位

### Papas

☆O-40

【市シニアマスターズ】

vs 高麗 3-2○

## 今、グラウンドでは・・・

### Top

#### 【県社会人選手権敗退】

Top チームは県リーグの前哨戦でもある神奈川県社会人選手権を行いました。

2月7日明治生田 FOX との試合は全体的にボールが良く動き、再加入の MF 神先選手の2得点の活躍もあり4-2 で快勝しました。

続く3回戦は2月21日に行われ、同じ県リーグ1部のフットワーククラブとの対戦となりました。

昨年の県リーグで 0-4 で負けた

相手だけに簡単には負けられませんでした。

DF 吉川のサイドバック、FW 二木のボランチ起用など手を尽くして試合に臨み、かながわクラブのペースで試合が運んだにもかかわらず、小さなミスから失点してしまい0-2で敗れてしまいました。

サッカーの試合なので、結果はどうなるかわかりません。

しかし負けた試合にはそれなりの敗因があります。

得点機に得点を挙げられないなら得点するための練習、小さなミスを犯してしまうならミスをしないような練習、それぞれの課題を持って練習することだけです。

サッカーのうまさのひとつには、技術的なこともあります。ボールを持ったときの判断力が鍵になります。ボールを持ったときにいかに次につなげるかは、周りを見て瞬時に判断することも必要です。その判断力を身につけるのも練習です。

次の公式戦は県リーグです、今年のモットーである「勝ちにこだわる」ということを念頭に練習に励んでいきます。

開幕戦については決定次第ご案内しますが、4月の3週目か4週目の日曜日になる予定ですので、今シーズンも熱い応援をお願いします！

(中本 洋一)

※今月は「Top 選手紹介」をお休みさせていただきます。

### Youth

前号でご紹介した田中孝司さんの指導が始まってあっという間の1ヶ月。

基本的なこと、当たり前のことをわかりやすく指導してくれます。頭ごなしに「ああしなければならぬ」「こうしなければダメだ」といったことは一切なく、「なぜそのトレーニングが必

要なのか」「どういうことに気をつければできるようになるのか」を常に伝えてくれています。

ずっと言われ続けているのは、「技術の大切さ」と「常に考えてプレーすること」です。

また、選手一人ひとりいつもコミュニケーションをとり、細かく的確なアドバイスをしてくれています。これからも選手の皆さんには、一言も聞き漏らすことなく、しっかり自分のものにしてほしいと思います。

少しずつ変わってきた自分にも気がついているのではないのでしょうか。

(内田 佳彦)

### Junior Youth

3年生が受験を終え、復帰してきました。

例年この時期は3年生が出場できる公式戦はすでに終了しているのですが、今年度は新たに始まった「県クラブジュニアユース(CJY)U-15 リーグ」にエントリーしているため、3月中旬に4試合の公式戦が予定されています。高校生年代で良いスタートを切るためにも有意義な試合にして欲しいと思います。

また、1・2年生は「県 U-15 リーグ 2nd ステージ」を終えたところです。

今後は、3年生とともに「県 CJY(U-15)リーグ」を戦い、愛知遠征を経て、チームとして1つの目標にしている4月末の「日本クラブユース選手権県大会」に向かっていくこととなります。

(二木 昭)

### 小 6

1月、2月は試合に出て行くことが多かったのですが、12月の遠征を境に変わったのが「ベンチにいる選手の姿勢」です。

試合中は仲間の応援やアップをし、

ハーフタイムでは自主的にグラウンドに出てボールを蹴り始め、「いつでもいけますよ」とアピールしているところなど、サブ選手の役割を理解し、選手としての自覚が非常に感じられるようになりました。

どの選手がベンチにいても仲間を応援するところは、チームとしての一体感があります。

この先もこの姿勢を忘れずにいて欲しいと願います。

(高田 成典)

かにするようなことがあってはならないです。サッカーも勉強も両方頑張ることができて、はじめて“良い選手”になるのだと思います。自分の経験からも両方(私の場合は卓球でしたが)を頑張っていた時期は、とても充実した毎日を過ごしていたと記憶しています。

どちらも、やる時はしっかりと全力で取り組みましょう。一人ひとりの頑張りに期待しています！

(鈴木 章弘)

自分で行う・周りを見て行動をするという3つの目標を、今ではほとんどの選手が実行できるようになりました。(早い選手で1時間前から来て自主練を行っている選手もいます。)

サッカー以外の場面でもこの3つは団体行動に必要なことなので、これからも継続して行ってもらいたいと思います。

(丸山 祐人)

## 小 5

### 【結果 < 内容】

あらためて言うまでもありませんが、かながわクラブでは長期的視野に基づいた選手の育成を第一に考えております。

現5年生についても、前任の井岡コーチの時から一貫してこの考え方をベースに指導してきました。

小学生年代はまさに育成の真只中にあり、そこでは目の前の試合に勝つことよりも、試合の中で何ができて何ができなかったのか、プレーの内容に目を向けてあげることが優先されるべきだと考えています。そして、内容を追求していけば、結果も後からついてくるものと信じています。

引き続き温かい目で見守っていただければと思います。

### 【選手たちへ】

4月からいよいよ小学6年生となり、日頃取り組んでいるサッカーも、徐々に本格的な内容に移行していきます。君たちの知りたい、そして学びたいという欲求に対してどこまで刺激を与えることができるのか、これからがコーチとしての腕の見せ所だとも思っています。

ただ、忘れないでください。君たちはサッカー選手である前に小学生であるということを。学業をおろそ

## 小 4

### 【アディダスとプーマは兄弟??】

皆さんもご存知のアディダスとプーマは創設者が兄弟なのはご存知でしょうか??ドイツのダスラー兄弟が「ダスラー兄弟商会」という会社を創設したのですが、意見の対立がおこり弟が現在のアディダス・兄がプーマを設立しました。もし兄弟が対立しなかったらプーマもアディダスも存在しなかったかもしれません。

### 【5年生まであと少し】

4年生として練習する機会も後少しくなってきました。

練習内容や目標(基礎技術の定着・良い判断)は特に変えていませんが、判断の速さ・ボールの精度・動き出しの速さなど以前よりグレードの高いものを目指し練習を行っています。

時間はあまりありませんが、5年生になる前に1人1人がレベルアップ・良い状態で5年生を迎えられるようにしたいと考えています。

### 【1人1人の意識】

4年生の最初に比べ1人1人の意識が高くなってきました。

3年生の最初に掲げた①理由の不十分な遅刻は減点②挨拶は自分からする③自分の出来ることは

## 小 3

### 【つるま育成リーグ】

2月6日に、昨年の夏に続き参加させていただきました。

3試合ありましたが、1チームでのエントリーでしたので夫々限られた時間のみの出場ではありましたが、この1Dayリーグでは各チーム優秀選手(2名)、MVP(1名)の表彰があることから子供たちの取組む姿勢もいつもよりも積極的でした。

実は、個人的にはこの表彰は非常に良い企画だと思っています。もちろん全員が何らかの賞をもらえればもっと良いのかもしれませんが、もらった子、もらえなかった子夫々に次への動機付けになりますし、スタッフとしてはそのサポートが出来るように取組んで行きたいと考えています。

尚、この選出は他の参加チームおよびつるまSCのスタッフ皆さんが行いましたが、その皆さんとのコミュニケーションでは今回もらえなかった子の中でも良いプレーをした子についてコメントがありました。皆さん本当に良く見ておられますし、アツいアドバイスには頭が下がります。。

今後子供たちにそのことも伝えながら活動したいと思います。

(小野 津春)

## 幼児・小1・小2

### 【学年対抗フットサル大会で…】

2月11日に、ご父母対象の学年対抗フットサル大会が開催されました。昨年に続き2回目の開催でしたが、サッカーの上手な親御さんが多かったことに驚きました。恐らくはサッカーの経験者が増えたということなのでしょう。最近のフットサルコートが増加に伴い、大人になってからサッカーを始めた方もいるとは思われますが、大部分の方々は子どもの頃からサッカーを継続していることでしょう。

### 【サッカーは楽しい！】

では、皆さんがサッカーを始めたきっかけは何だったのでしょうか。そして、現在もサッカーを続けている理由は何なのでしょう。私自身も、今年55歳になるとうる今もなおPapapでボールを蹴っています。なぜかと問われたら、それは単に楽しいからに他なりませんと答えるでしょう。心から楽しいと感じられるから続けられるのです。勝敗や技術の差は二の次です。仕事上の利害関係とは無縁のスポーツである点、汗をかくことの爽快感、阿吽の呼吸でパス交換できたときの何とも言えぬ嬉しさなどいくつもの楽しさがあります。皆さんも恐らく同じ思いなのではないでしょうか。

### 【お願い！】

そこでお願ひです。お子さんがサッカーをすることが楽しいと感じている間はサッカーをさせてほしいのです。試合での勝敗は関係ありません。勿論サッカーの上手い下手も関係ありません。夢中でサッカーボールを追いかけて、勝って喜び、負けて悔しがる子どもたちの姿を温かい目で見守ってほしいのです。サッカーが楽しくなり、サッカーが好

きになり、ずっとサッカーを続けることができれば、サッカーのプロ選手になることも可能になります。少なくとも、確実に皆さんと同じようなサッカーを一生楽しむことができる大人にはなります。

### 【ピグマリオン効果のお話】

ピグマリオン効果とは教育心理学における心理的行動の一つで、教師の期待によって学習者の成績が向上することです。アメリカの心理学者ローゼンタールは、ある小学校のクラスで普通の知能テストをさせ、その結果を担当の教師に次のように報告しました。「このテストは将来の学力の伸びが確実に予測できるものです。まだ研究中なので、結果を教えることはできませんが、先生にだけ、将来伸びる子の名前を教えましょう。」しかし、そこで教えられた数人の生徒は知能テストの成績に関係なく、ランダムに選ばれた子でした。

その後、学級担任は、子どもたちの成績が向上するという期待を込めて、その子どもたちを見ていました。それから一年ほどたって、再び知能テストをしたところ、知能が伸びると伝えられた子どもたちは、他の子どもたちと比較して、成績が著しく伸びていたのです。成績が向上した原因としては、学級担任が子どもたちに対して、期待のこもった眼差しを向けたことではないかと考えられます。

このような結果が起こる理由として、ローゼンタールは、人は常に相手の期待に対し最も敏感に反応するから、と説明しています。簡単に言えば、人は周囲の人たちが自分に期待をかけてくれると頑張ろうと思うものですが、期待されていないと思うと、やる気がなかなか出ないものです。成績が向上するといわれた子どもに対しての先生の期待感が、教え方や褒め方などに影響

を与え、実際に成績が向上することにつながったのでしょうか。

### 【子どもの成長に関わる大人として…】

かながわクラブのスタッフは、全員こうした視点を持って、子どもたちの指導にあたっています。先ほどのお願いにも関係しますが、親御さんたちにもこうした視点でサッカーに取り組む子どもたちを見守ってほしいと思います。子どもに対して期待を持ち、その子の長所を伸ばそうという温かい態度で接していれば、子どもも自分に合った望ましい方向に伸びていく可能性があるということです。

逆に教師が期待しないことによって学習者の成績が下がることはゴーレム効果と呼ばれています。期待が首尾一貫していなかったり、感情に自分が振り回されたりすると、ゴーレム効果になりかねませんのでご注意ください。

(佐藤 敏明)

## Papap

### 【Papap は新メンバーを募集中】

2月号でもご案内しましたが、Papapはいつでも新メンバーを募集中です。特にサッカー未経験のお父さんを大歓迎します。

来月から新年度となり事務手数料年額2,500円の徴収がありますので、入部には大変良い時期かと思ひます。

多くのお父さんの参加をお待ちしております。

### 【Papap Special】

昨3月6日土曜日の話ですが、いつもの港北小を離れて、天然芝の素晴らしいグラウンド県立保土ヶ谷公園サッカー場でいつものPapapの活動をPapap Specialと銘打って展開しました。

日頃の Papas の皆さまのかながわクラブへのご理解ご協力に感謝してのイベントでした。

しかし、こうした素晴らしい天然芝ではなくとも、たまにはフルサイズのピッチでサッカーを楽しみたいとお考えの方も多いと存じます。確かに最近の Papas ではそうした機会が少なくなってしまうのも事実です。

今年はベアグラウンドではありますが、多少遠方ではありますが、今、理事長等が動いている話が実現すると、そうした機会が多少増えるかもしれません。ただ、この場合、草取りや石拾いなどのグラウンド整備を Papas の皆さんにお願いをしながら利用していくようであります。もうしばらくすると、間もなく、詳細が明らかになりますが、その際にはぜひともご理解、ご協力をお願いします。

#### 【Rec&Comp】

Rec&Comp は Comp がチャンピオンズカップの県内1位2位を争う強豪との対戦を7日、14 日と残していますが、これが終了すると、いよいよ2010 年度シニアリーグの開幕となります。

Rec は4月4日(日)9時キックオフの川崎 OWLS 戦(平塚大神 E)が開幕戦となりそうです。

Comp の開幕戦はまだ決まりませんが、いずれにしても、けがのない壮年サッカーを今年も存分に楽しみたいと思います。

なお、手違いから新年度の Rec&Comp の事務登録手数料の引き落としが3月と4月の2回に渡っての引き落としになったことをお詫び申し上げます。

#### 【Over-40】

横浜市シニア委員会が主催する交歓試合及び市マスターズトーナメントに参加するいわゆる「チーム Over-40」ですが、新年度から

Rec&Comp には参加せず、Over-40 のみに参加する方を募集しましたところ、早速数名の方から申し込みがありました。ありがとうございます。3月いっぱいまでは募集しますので奮ってご参加を。

なお、参加費用は事務登録手数料 4,000 円で、4月以降引落しの予定です。参加希望者は茅野宛にメールをいただければ幸いです。

(茅野 英一)

#### ヨーガ

##### 【ドラマ】

最近になって、フィギュアスケート選手の井上怜奈選手のことを知りました。

彼女は 20 歳のときに、子供のころから彼女のスケートを支えてくれていたお父様を肺がんで失います。その後 22 歳でご本人の怜奈さんも肺がんを発症、治療を続けながらも厳しい練習を続けます。しかし、その練習中に転倒をして意識不明の重症。身体と心の痛手を負いながらもスケートを続けます。23 歳でジョン・ボルドウィン氏とペアを組み 2004 年全米選手権で優勝。2006 年トリノオリンピックで7位入賞をいたします。

さらにドラマチックなのは、引退表明を撤回して現役続行を決意したのぞんだ 2008 年の全米選手権での出来事。氷上でのプロポーズです。演技終了直後、ボルドウィン氏は彼女の前にひざまずきながら「残りの人生と一緒に過ごしたいのは君なんだ。結婚してくれるかい。」彼女は涙ぐみ「はい。」と答えたそうです。氷上で抱き合うお二人の姿、彼女の涙は美しすぎる・・・。

本物には心を打たれます。

(伊藤 玲子)

#### たわごと 理事長の戯言

##### 【自転車5】

自転車についてしばらく書かないでいたのは、決して乗っていなかったわけではありません。もちろん、寒さから夏場の半分以下にはなっていると思いますが、基本的には平日の大口台小の練習は自転車です。

往復で 11km ちょっと。片道 20 分弱です。

ただ学校直前の坂がきつく、弱気になってクルマにになってしまうことも何度かあります。

そこで、今回意を決して購入しました。はやりの電動アシスト付自転車！

フロントサスペンション、ディスクブレーキ、内装8段変則と、路面が荒れていたり多少の雨でも気にせず走れますし、街中で止まったままギアチェンジできるのは便利です。

きつ〜い坂などものともせず、まるで誰かに押してもらっているような感覚でぐいぐい進みます。

ただし、自重が 23kg もありますので、巡航速度は今までのものよりも遅くなりますし、アシストが切れると結構な重さを感じます。

家を出る前に目的地までのルートを考え、平坦な道が多ければ今までの自転車、坂があるようなら電動を選ぶようにしました。

もう一台マウンテンバイクもありますので、そろそろそれぞれに名前をつけようかと思っています。

(内田 佳彦)